



「世のため 人のため」に尽くす 【館風】 質朴剛健 不羈独立 自由闊達

<スクールミッション>

世のため人のために力を尽くし、未来を創り出す、真のグローバルリーダーを育成する学校

全人教育を中心に据えた高度で先進的な教育活動を通じて、次代の福岡県、日本、国際社会をけん引する人材を育成します。

- 「全人教育」を中心に据えた教育活動を実践
- 次代の国際社会や日本を担う人材・リーダーを育成
- 教育における先進性と地域における教育の役割を見据えた改革を推進
- 福岡県・日本を代表する公立高等学校としての在り方を生徒、教職員ともに追究



スクール・ポリシー		
グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)
<b>【修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ】</b> <b>【自浄作用】</b> ・後世に文化を継承していく使命と責任の自覚 ・知性と感性が調和した人間力豊かな実践的行動力 ・世界の現実を直視した高い志と国際的素養 ・内面的自覚を促し、礼節と倫理観、正義感をもった主体性 ・10年後、20年後の自己実現	<b>【知性の刺激、失敗を恐れない学び】</b> <b>【語りの文化】【根拠なき自信】</b> ・高い学力を豊かな知性が高める上質な授業 ・「文系・理系」「英数クラス・医進クラス」設置 ・「Sure You Can 講座」「課題研究」の実施 ・外部人材活用：卒業生キャリアセミナー、出前授業、生徒海外派遣、東京研修等 ・「失敗から学ぶ」：生徒主体の運営による学校行事及び生徒会における自治的活動	<b>【高い目的意識と学習意欲】【挑戦】</b> ・本校の館風と文化に対し興味を抱く人 ・人格の完成を目指し、自らを鍛え文武両道を極めようとする逞しい人 ・人と人のかかわりで学ぶことを楽しめる人 ・自ら考え判断し、主体的に行動し、自己の行動に責任を持つ誠実な人 ・自他を尊重し、人の痛みのわかる感受性豊かな人

本校の指導内容

育成したい資質・能力		
【逞しい骨太の人材】		
(1) 修猷アイデンティティ (自治的・主体的行動、文武両道、豊かな知性、知の統合、豊かな人間性の涵養) (2) 実践的行動力 (逞しさ、創造性、協働性、リーダーシップ・フォロワーシップ、自浄作用) (3) 未来を切り拓くための多様な資質・能力 (「知性の刺激、失敗を恐れない学び、語りの文化」等、人と人のかかわりの中で学ぶ修猷文化を活用し、自己の未来への挑戦)		
第1学年	第2学年	第3学年
応援歌指導・創志研修・大運動会・十里踏破遠足 予餞会・大文化祭・生徒海外派遣 ★修猷の型の獲得、生活(授業・行事等)に慣れる ★修猷の自由と主体性を学校生活で実践する	大運動会・十里踏破遠足・予餞会・大文化祭 研修旅行・生徒海外派遣 ★高い志を持ち、授業・行事等に全力で挑む ★行事の企画・立案・運営を経験し、主体性・協働性を高める	大運動会・予餞会・卒業式 生徒海外派遣 ★型を創る：行事の企画・立案・運営の中心となり、主体性・協働性を確立する ★高い志を抱き、進路目標の達成に向け学習活動を展開する
・社会の一員としての基礎・基本の定着 ・生徒会等、自治的活動に主体的に参加する態度 ・部活動への積極的参加 ・進路模索：卒業生キャリアセミナー(CS) ・社会・学問に対する見聞を広げる：出前授業 ・学力の基礎基本の徹底と実力の増強 ・家庭学習を重視した自ら学び考える態度を習得 ・新しい時代に対応する情報リテラシー ・語りの文化：議論の大切さを認識 ・リサーチ力・プレゼン能力	・社会の一員としての在り方・生き方を模索 ・任意の主体的活動を活性化し生徒自治の機能化 ・部活動の目標達成のために努力 ・「学ぶ」「働く」について探究：卒業生CS ・社会・学問に対する関心を深める：出前授業 ・普通クラス・英数クラスに応じた学力の定着 ・自ら学び自ら考える態度の醸成 ・分析的な理解力・判断力 ・課題を発見し、解決するための能力 ・リサーチ力・プレゼン能力	・社会の一員として内外の諸事象への積極的関与 ・生徒自治に係る課題を主体的に解決し、集団生活の自主運営能力を強化 ・部活動経験を活かし行事等での指導力向上 ・「学ぶ」から「働く」への移行：卒業生CS ・進路目標の達成に十分な学力の定着 ・大学や社会でも学び続けられる能力 ・構成力・表現力・論理的思考力：小論文講座 ・コミュニケーション能力・リサーチ力・論理的思考力・科学的思考力の統合
「鍛ほめ福岡メソッド」の実践 [ 生徒意識調査・授業アンケートの実施と分析・評価→改善 ]		



◆令和7年度の教育重点目標

1 組織機能の活性化

- (1) 組織マネジメントの充実に向け、校務分掌・学年の業務を精選し、多様な人材活用によりミドルリーダーを育成する。併せて多様化・複雑化する課題に対し学年・分掌を横断して解決を図るとともに、国や県が推進する様々なIT活用にも適切に対応し、業務の効率化を図る。
- (2) 新学習指導要領に対応して変更した教育課程、学習評価法、時制等の検証・改善を行うとともに前期の区切り「大運動会」・学年の総仕上げとなる後期の「大文化祭」の二大学校行事を軸に、学校暦の更なる充実を図る。

2 たくましい骨太の生徒育成(「修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ」)

- (1) 創立250周年に向け、修猷アイデンティティ(自治的・主体的行動、文武両道、豊かな知性、知の統合、豊かな人間性の涵養)と実践的行動力(逞しさ、創造性、協働性、リーダーシップ・フォロワーシップ、自浄作用)を更に意識させ、それを育成する多様な場や仕掛けを設定する。
- (2) 「知性の刺激、失敗を恐れない学び、語りの文化」等、人と人との関わりの中で学ぶ修猷文化を活用し、生徒の未来を切り開く多様な資質・能力を伸ばすために、挑戦、自他の個性の理解、命の大切さ、自尊感情・人権感覚、誇りと自信を重んじる生徒の育成を図る。

3 教師としての使命を果たす

- (1) 本校が目指す生徒を育成するために、教師一人一人が各自のこだわり・個性を最大限発揮し、生徒に「根拠ある自信」とともに「根拠なき自信」や挑戦への意欲を持たせる等、自らが修猷文化を醸成するとの自覚を持つ。
- (2) 自ら進んで研究と修養に努め、教養・幅広い知識・専門性の向上を図る。特に深い学び、ICTを取り入れた新たな学びを駆使し、上質の授業を展開する。